

多焦点眼内レンズに係る選定療養に関する指針

公益財団法人 日本眼科学会

白内障患者に対する水晶体再建術において、選定療養の枠組みで多焦点眼内レンズを使用できるようになった。選定療養は、患者が追加費用を負担することで、保険適用外の治療を保険適用の治療と併せて受けることができる医療である。本療養について、各実施医療機関に適正実施を促す観点から、日本眼科学会は以下の指針を定める。

1. 対象患者

1) 適応

- ・白内障による視機能障害を有し、術後になるべく眼鏡装用をせずに生活したいと希望するもの
- ・多焦点眼内レンズのメリット・デメリットを理解できるもの

2) 除外基準

- ・術後視機能に影響を与える角膜疾患，ドライアイ，緑内障，ぶどう膜炎，網膜疾患，視神経疾患などの眼合併症を有するもの
- ・弱視
- ・Zinn 小帯脆弱
- ・重度の小瞳孔
- ・白内障を有しない症例における，屈折矯正を目的とした refractive lens exchange は本療養の対象とならない
- ・その他，医師が非適応と判断したもの

2. 適切な実施方法

1) 術前検査

白内障以外の併発疾患の有無は、本療養の適否に大きく係るので、詳細な前眼部検査、眼底検査を行う必要がある。併発疾患があった場合は、精密検査を行い、術後機能に影響を与える可能性について詳細に評価し、本療養の適否を判断する。

通常の水晶体再建術に対して行われる術前検査に加え、角膜形状解析による不正乱視の評価、コントラスト感度検査による視機能の評価を行う。屈折型眼内レンズでは瞳孔サイズが術後視機能に影響するので、瞳孔径の測定も行う。

2) 本療養の適切な手技

連続円形切嚢（CCC）による前嚢切除を行い、眼内レンズは嚢内に挿入する。前嚢縁が眼内レンズ光学部を均等に覆うよう固定することが望ましい。

瞳孔の変形や眼内レンズの偏位が生じると、多焦点眼内レンズの機能が十分に得られないので、内眼組織に負担をかけない低侵襲な手術を行う必要がある。同様に、手術による角膜乱視（正乱視，不正乱視を含む）の発生は多焦点眼内レンズの術後視機能に大きな影響を与えるので、眼球の変形を最小限とする術式（小切開自己閉鎖創手術）を行う。

3) 術後経過

術後は消炎を図り、適切な間隔で経過を観察する。コントラスト感度低下、グレア・ハロー、waxy vision、夜間視力不良などの症状に留意する。患者が不具合を訴えた場合には、眼内レンズの入れ換えを含め、適切な治療をしかるべき時期に行う。

3. 費用の適正化

患者から徴収する費用は、厚生労働省の示す「社会的にみて妥当適切な範囲の額」の計算方法を遵守すること。また、厚生労働省の定める留意事項通知に従い、地方厚生(支)局長に必要な報告を行うこと

4. 施設要件

1) 主として実施する医師に係る基準

- [1] 専ら眼科に従事し、当該診療科について五年以上の経験を有すること
- [2] 眼科専門医（公益財団法人日本眼科学会が認定したものをいう）であること
- [3] 水晶体再建術について 100 件以上の症例を実施していること
- [4] 日本眼科学会が実施する多焦点眼内レンズの基本知識および適正使用に関する研修を修了すること

2) 実施機関に係る基準

- [1] 眼科を標榜していること
- [2] 視能訓練士が配置されていること

- [3] 通常の水晶体再建術を実施できる体制があること
- [4] 水晶体再建術について 100 件以上の症例を実施していること

5. 研修の実施や日本眼科学会と連携する体制等

多焦点眼内レンズに関する基本知識および適正使用に関する研修は、日本眼科学会のホームページ（HP）上で行われる。また、本療養に関する追加情報は随時 HP に掲載される。本療養を施行する医師は基本知識および適正使用に関する研修を修了し、また施行施設は本療養に関する追加情報を適宜確認すること。

6. 患者説明

- ・白内障の治療としては既存の水晶体再建術で十分な効果が期待できることについて必ず説明すること
- ・既存治療に対する本療養のメリット・デメリットおよび費用等について十分に説明すること
- ・ハロー・グレア，コントラスト感度の低下，waxy vision，夜間視力の低下等の不具合の可能性について説明を行うこと
- ・見え方に慣れるまで時間がかかることがあること，必ずしも全員で眼鏡が不要になるわけではないことを説明すること
- ・眼内レンズ入れ換え等の再手術（疾病に対する治療ではないもの）については，保険診療とならないことを説明すること
- ・患者の自由な選択に基づき，文書による同意を得ること

7. その他

厚生労働省が定める選定療養を実施するにあたっての所定の手続き（URL は別途日本眼科学会 HP にて通知）に従うこと。